

教育目標

かしこく
やさしく
たくましく

令和8年2月27日
忍路中央小学校
忍路中学校
学校だより11号

本庄 有希子



忍路小中HP <https://www.otaru.ed.jp/osyoro-psjh/>

「天からの手紙」が教える、一人一人の輝き

校長 本庄 有希子

2月に入り、小樽は記録的な吹雪に見舞われました。二度にわたる臨時休校では、保護者の皆様、地域の皆様にご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。校舎の窓から見上げる空は厳しく、自然の猛威を感じる日々でしたが、その一方で、静かに降り積もる雪は、私たちに大切なことを教えてくれているようにも感じます。

中学二年生の理科の教科書に、世界で初めて人工雪を作ることに成功した物理学者・中谷宇吉郎博士が登場します。

中谷博士は今から90年ほど前、アメリカの写真家が出版した「雪の結晶の写真集」を見て感動し、雪の研究に着手していきました。十勝岳の中腹、白銀荘で3年間で3000枚もの雪の結晶の顕微鏡写真を撮影し、それ基に分類を行い、雪の結晶が上空の温度や湿度によって、六角板状や針状、樹枝状へと驚くほど多様に変化することを発見しました。また、それと並行して実験室の中でウサギの毛を核にして雪の結晶づくりにも取り組み、世界で初めて「人工雪」を発生させることに成功しています。

この当時、日本の大学では原子や素粒子、数学的に難しい問題の研究者ほど、偉いという風潮があり、「たかが雪の研究」と言われた事もあったようです。本人ですら、「寒い目にあってさんざん苦勞をして、こんな雪の研究なんかしても、さてそれが一体なんかの役に立つのかといわれれば、ほんとうのところはまだ自分にも何等確信はない。しかし面白いことはずいぶん面白いと自分では思っている。(中略)こんな研究も一つくらいはあってもよいだろうと、自ら慰めている次第である。」と述べています。しかし海外では高い評価を受け、この研究は気象学、航空機の着氷防止研究、飛行場の霧消し、人工降雨など多くの研究の基礎となりました。

その中谷博士は、有名な言葉を残しています。

「雪は天から送られた手紙である。」

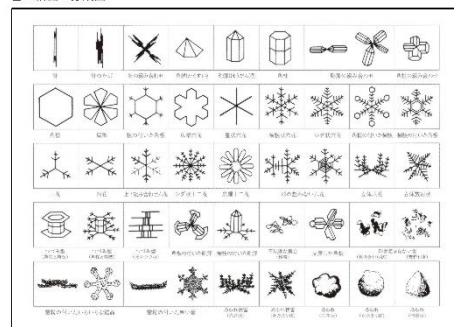
つまり、地上に舞い降りた結晶の形を調べれば、それまでその雪が通ってきた空の様子(物語)がわかるという意味を込めて、「手紙」と呼んだのです。

今年度、本校の重点目標は「子どもたち一人一人の可能性を引き出す」でした。中谷博士がウサギの毛を核にして雪の結晶を育てたように、私たちは子どもたちという「核」に、どのような学びや経験を届けることができるかを日々問い続けてきました。効率や結果、画一的な枠に当てはめるのではなく、一見「何の役に立つのか」と思えるような小さな興味や、日々の葛藤という名の「手紙」を丁寧に読み解くこと。それがその子どもにしかつけない「可能性の結晶」を育む唯一の方法だと思っています。

余談になりますが、吹雪で臨時休校になったことから中谷博士との「再会」がありました。昔の教科書ではもっと詳しく紹介されていた中谷さんの功績が、今の教科書では簡略化されていることを少し寂しく思いながら中谷博士の研究を詳しく調べて行くと、研究所は私が何度も訪れた今やサウナの聖地として有名な「白銀荘」。また秋に訪れた青少年科学館で目にした人工降雪機。教科書の中の知識が、ある日、自分の思い出や目の前の景色と結びつく。その瞬間、世の中はぐっと面白くなります。

吹雪の厳しさを乗り越えた先には、必ず春の光が待っています。雪が解けて水となり、大地を潤し、新しい命を育むように、本校での学びが子どもたちの未来の可能性を大きく広げる力となるよう、教職員一同、最後まで一人一人の個性に寄り添い、伴走してまいります。

雪の結晶の分類図



小学館発行『Snow Crystals』(ハードカバー)掲載、1964年発行(複製)

小 スキー学習

1月30日（金）と2月25日（水）に小学校のスキー学習が、朝里川温泉スキー場で行われました。1回目は、時折強い風に見舞われましたが、海もきれいに見渡せる晴天の中、自分の技術アップに向けて、たくさん滑ることができました。2回目は、ここ数日の高温で重たい雪ではありましたが、どのグループも安全に楽しく滑ることができました。



中 家庭科調理実習

2月9日（月）に中学1年生が、10日（火）に中学2年生が調理実習を行いました。

中学1年生は、和食（牛丼・油揚げの味噌汁・白玉デザート）と洋食（ビーフシチュー・トマトのカプレーゼ・パン・オレンジのシャーベット）の料理対決をしました。

中学2年生は、唐揚げ・卵焼き・スコッチエッグ・野菜炒め・ふんわりおにぎりのボリューム満点のお弁当作りに挑戦しました。

1年生も2年生もレシピを見ながら、手際よく、上手に調理することができました。



中 雪あかりの路

2月13日（金）に中学校の生徒会が中心となり、忍路小中学校雪あかりの路が行われました。

その週は気温が高く、バケツに入れた水が凍るまで時間がかかりましたが、3日かかって何とか完成しました。

氷のランタンに明かりをともして完成。小学生も中学生が作ったランタンを見て、「きれい。」と感動しながら、下校していきました。



小 新入生1日体験入学・保護者説明会

1月29日（木）に新入生1日体験入学・保護者説明会が3年ぶりに開催されました。

保護者に入学に向けての説明をしている間、4月から新6年生として忍路中央小学校を引っ張ってくれる5年生が中心となり、1日体験入学を運営してくれました。

始めは「めっちゃくちゃ緊張する。」「上手く話せるかな。」と緊張しながら挨拶をしたり、進行したりしていた5年生。一緒に絵を描き会話をするうちに、たくさん笑顔が見られ、新一年生と楽しく過ごすことができました。

進め方や教え方も本当に上手で、4月からの活躍が楽しみな5年生でした。



全国体力・運動能力、 運動習慣等調査の結果から

小学5年生と中学2年生を対象として実施された全国体力・運動能力、運動習慣等調査では、小学5年生の長座前屈に課題が見られましたが、その他は全道・全国平均を上回る結果となりました。

また、中学2年生では、男女ともに反復横跳びに課題が見られました。男子はその他の項目で、女子は握力で全道・全国平均を上回る結果となりました。

小学5年生、中学2年生ともに「運動やスポーツをすることは好き。」と回答した児童生徒の割合が高く、今後も「部活動」や「全員遊び」、「縄跳び」などを通して体力作りに取り組んでいきます。

いじめアンケートについて

1月下旬に行った今年度3回目のいじめアンケートについて、2月27日の時点で「いじめと認知した」のは、小学生、中学生ともに0件でした。今回の調査では「11月から今日まで学校で嫌な思いをしたことがありますか。」と回答した児童生徒も0件であり、落ち着いた生活していることがわかりました。

今後も嫌な思いをせず、安心して学校生活を送ることができるよう、担任や生徒指導担当を中心に全職員で子どもたちを見守り、いじめ見逃しゼロに向け、取り組んでいきます。気になることやご相談したいことがありましたら、いつでもご連絡ください。